

窯作り7(ドーム組み立て治具と鉄扉ダミーの作成)

窯(ピザ、パン、炭の3Way)造りを始めてもう2年になります。ちんたらちんたらと時間がかかっていますが、少しずつ進んでいます。2013年末には2階部ドーム型レンガ72個を作り終えて、1階部を合わせ約300個のレンガが出来ました。レンガ作りに1年半もかかってしまう事など、考えてもいませんでした。この間、頭の中では完成イメージを描きながらひたすら赤土を篩いにかけ、練り、型枠で成型しましたが、これからは、組立用治具や鉄扉等の準備となります。今回は、ドームレンガを積んでゆく治具と鉄扉のダミーモデルを作り組み立て時、実際の作業イメージを掴みます。



t=5mmの梱包用ダンボールをかき集めて半径460mm角度90度の扇を12枚作ります。

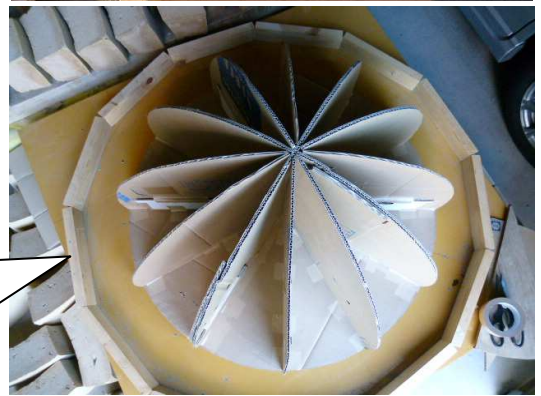
まず、直交させます。



全て12枚組上げました。



直径920mmの円形ダンボールを作成。この円形ダンボールを敷いて、半球扇が30度になるよう紙テープで固定します。



2階部はピザやパンを焼きますので出入り口を設置し、熱が逃げないように鉄扉が必要になります。製作する前にダンボールでダミーモデルを作りました。



30度毎ドームレンガをダンボール治具に、もたせかけ耐熱コンクリートで積んでゆく作業のイメージを掴みます。



入り口に鉄扉ダンボールダミーを取り付けてみました。



ドームレンガを天辺まで積上げ真ん中には昔、家で使っていた煙突(コンクリート?)を再利用しようと考えています。



ダンボールで作った半球の組み立て治具は、レンガを積上げるためのもので最後は火をつけて燃やしてしまいます。ダンボールの断面の垂直方向の荷重はとても強くドームレンガを積んでゆく時の支えには充分耐えると思っています。この治具は当初ベニヤ板で作ることも考えましたが、一時的なものでありコストを優先しダンボールで製作しました。又、鉄扉ですが、こちらはダミーモデルを見ながらウーンと唸っています。課題は幾つもありますが①扉は球面で仕上げる必要があり②3mmの鉄板の切断は手持ちの工具で可能なのか?③切断後の鉄板組み立ては溶接を考えているものうまく溶接できるか?等悩みは尽きません。3-9月は農繁期であり、この調子で行けば窯の完成は2014年末迄にできるか???と言うところでしょうか。